

報告事項(3)令和4年度高齢者あんしんセンターの事業評価について

【目的】

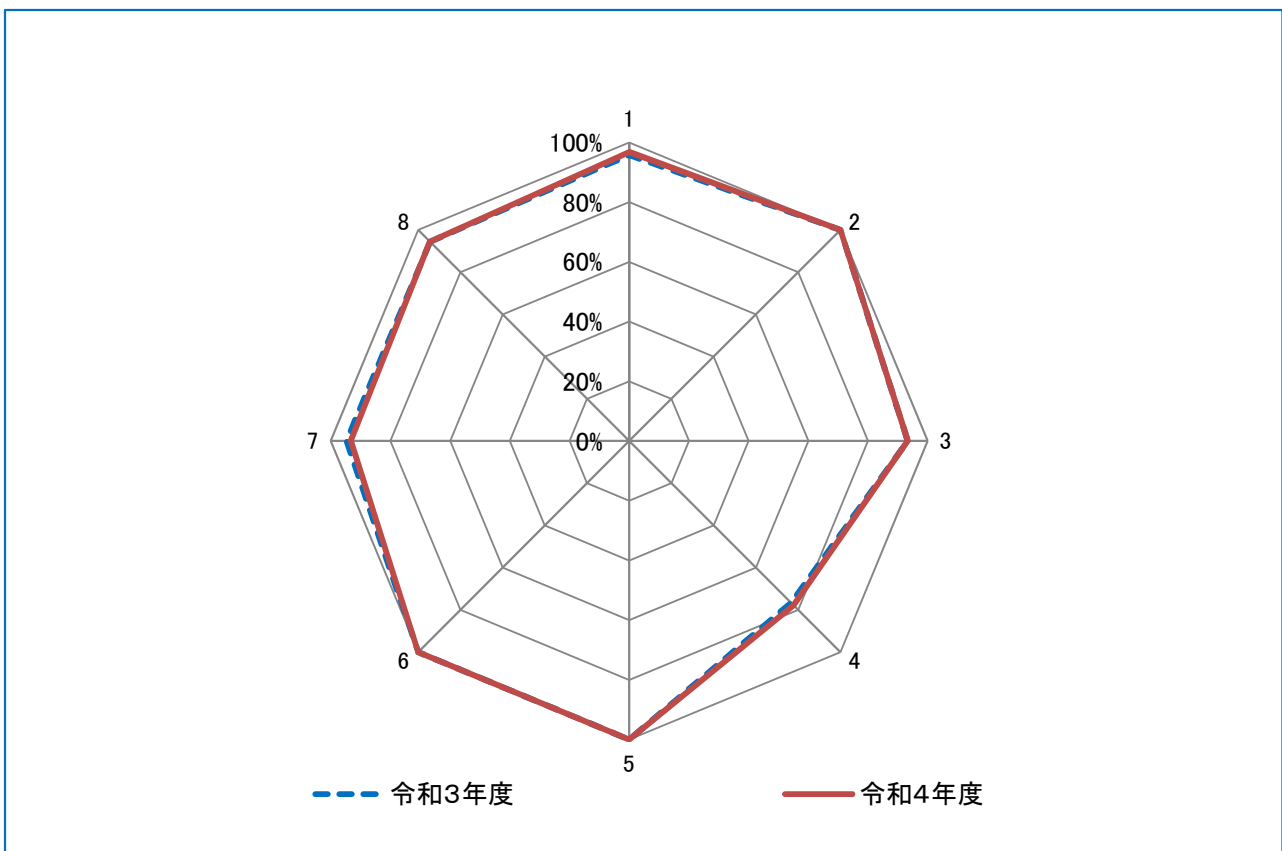
地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的としている。地域包括支援センターが地域において求められる機能を十分発揮するために、人員体制及び業務の状況を定期的に把握・評価し、その結果を踏まえてセンターの設置者及び市町村が事業の質の向上のための必要な改善を図っていくことが重要であり、全ての市町村及びセンターで取り組み状況を評価することにより、地域包括ケアシステムの深化に向けた取り組みを加速させるものである。

【各高齢者あんしんセンターの取り組み状況（各センター平均）】

	項目	令和3年度	令和4年度
1	1 組織運営体制等	95.8%	96.8%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	93.3%	93.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	76.7%	77.8%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	100.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	100.0%	100.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	94.7%	93.3%
	平均	94.4%	94.5%

(令和5年4月末時点)

■レーダーチャート（経年比較）



出典元：厚生労働省老健局振興課「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について(通知)別添資料」より

【まとめ】

令和4年度高齢者あんしんセンターの事業評価結果をみると、全体では、昨年度と比較して0.1ポイントの上昇が見られている。項目別では、「組織運営体制等」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」でポイントの上昇が見られた。

高齢者虐待や8050問題等、複雑かつ複合的な課題を抱えたケースが増加しているが、支援の検討については地域ケア会議（随時会議）を積極的に開催し、迅速かつ円滑に対応できるよう、多職種や関係機関との連携のもと、高齢者あんしんセンターにおける支援体制の強化に努めていく必要がある。

またケアマネジャーとの連携にあたっては、高齢者あんしんセンターテーマ別会議の「ケアマネ連携会議」において、居宅介護支援事業者部会と協働で開催した事例検討会を実施しており、今後も継続的に実施していくことでケアマネジャーとの連携体制のさらなる充実を図る。

「事業間連携」の項目については、ポイントの減少がみられるが、医療的ケアの必要な高齢者や認知症の人への支援など、地域における関係機関・関係者のネットワークを強化し、各分野の多職種連携のもと、包括的な相談支援体制の強化及び充実を目指していく。